

療養費は、自己負担となります。また、2,000床以上ある病院などでは、他の医療機関の紹介状がないまま受診すると、初診時に保険診療以外の費用を別途徴収される場合があります。

ひとり親福祉医療

― 自己負担はありません ―

ひとり親家庭の児童とその親、または両親のいない児童が、医療機関にかかった場合の各健康保険による自己負担額を助成。

■ 対象者

3月末までに18歳になる子ども、または18歳の年度末以降も引き続き高等学校（高等専門学校含む）に在学する子どもを扶養しているひとり親家庭

■ 所得基準（左の表を参照）

扶養親族等の数	親・扶養義務者の所得基準額
0人	2,360,000 円未満
1人	2,740,000 円未満
2人	3,120,000 円未満
3人	3,500,000 円未満
4人	3,880,000 円未満
5人	4,260,000 円未満

《乳児健診（4か月・10か月）》

内容 問診、身体測定、授乳指導、小児科医診察、個別指導

場所 岩滝保健センター・元気館

《1歳6か月健診》

内容 問診、身体測定、発達テスト、小児科医歯科診察、個別指導、歯科指導、フッ素塗布、栄養指導

場所 岩滝保健センター・元気館

《3歳児健診》

内容 問診、身体測定、視力検査、尿検査、発達テスト、小児科医歯科診察、個別指導、歯科指導、フッ素塗布、栄養指導

場所 岩滝保健センター・元気館

※ 健診時の持ち物（必須）

母子手帳、記入済みの問診票、バスタオル、衛生用品、飲み物、絵本、おもちゃ

子どもがぐずったらどうしよう

人が多かったり、初めての場所、また、待ち時間が長くなることもあります。そんなときは、子どもの年齢に合わせたグッズを用意。ぐずったときでも対応することができま

す。また、日ごろの心配事などを医師や保健師に相談できる機会です。聞

未熟児養育医療

出産時の体重が2,000グラム以下、または身体の発育が未熟なまま出生した子どもが、指定養育医療機関に入院した場合の入院医療費を給付する制度。

■ 給付対象

法の対象となる医療および入院食事代（ミルク代）

次のいずれかに該当する場合

出生時の体重が2,000グラム以下	呼吸数が毎分 30 以下
運動不安やけいれんがある	出血傾向が強い
運動が異常に少ない	出後 24 時間以上排便がない
体温が摂氏 34 度以下	出後 48 時間以上嘔吐がない
強度のチアノーゼが繰り返す	血性吐物・血性便がある
呼吸数が毎分 50 を超える	黄疸が強い

親子歯の健康教室

― 一生自分の歯で ―

一生自分の歯で食べられるかどうかは、乳幼児期の歯の状態や歯に良い生活習慣を身につけられるかにかかっています。子ども自身が虫歯予防に関心を持つこと、そして保護者も歯の健康を考える機会として「親子歯の健康教室」を開催しています。



きたいことがあれば日ごろからメモに書き留めておき、忘れずに聞くようにしてください。



上手にハイハイできるかな？

■ 給付対象外

おむつ代など保険対象外の費用

育成医療

身体に障害のある児童や、放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童で、障害の除去や軽減に必要な医療費を支援する制度。

■ 自己負担 原則1割

※ 所得に応じて自己負担額に上限（月額）があります。また、一定所得以上世帯に属する方で「重度かつ継続」に該当しない場合は対象外。

■ 対象となる障害

白内障、先天性緑内障、斜視、先天性耳奇形、口蓋裂、先天性股関節脱臼、くる病、脊髄側湾症、心臓疾患、腎機能障害、小腸機能障害、HIVによる免疫機能障害、先天性食道閉鎖症、鎖肛など

難聴児補聴器給付事業

身体障害者手帳の交付対象とならないレベルの難聴児に必要な補聴器の購入費用の一部を給付する事業。



世界に一つだけの離乳食碗を贈呈します

乳幼児健診

― お子さんの把握をしつかりと ―

母子保健法に基づいて行う乳幼児の健康診査です。母子保健法では、1歳6か月健診と3歳児健診が市町村に義務付けられていますが、その他の乳幼児に必要なに応じて健診を行うことが推奨されているため、与謝野町では「4か月児・10か月児」の健診を行っています。

健診では、身体の発育状況、栄養状況、疾病や異常がないか、運動機能に障害がないか、精神発達の状況、言語障害がないか、予防接種の接種状況などを確認します。対象者には案内を送付しますので、必ず受診してください。



大きくなったかな？ 身長や体重、頭囲などを計測します。

離乳食教室で食育

― 離乳食碗とスプーンを贈呈 ―

離乳とは、成長に伴い母乳または育児用ミルク等だけでは不足するエネルギーや栄養素を補うために、幼児食に移行する過程です。



離乳食教室では、講話と試食を通して気をつけてほしいこと、離乳食の作り方などを紹介。対象者は、生後5〜6か月の乳児とその保護者です。

教室終了後に、陶芸作家による「離乳食碗」と手作り「スプーン」を贈呈しています。離乳食碗には、誕生日とお子さんの名前を入れ、誕生日をイメージした絵付けをして、世界



栄養士のお話をメモするママ

品に仕上げられています。手作りの離乳食を安全なスプーンで食べさせてあげてください。